

Doc.No : NR990701

1999年7月1日

東南アジアで半導体製造装置の販売・サービスを強化
～シンガポールに新拠点をオープン～

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区/社長：石田明)は、シンガポール・テックパーク(政府系開発地区：Kaki Bukit Techpark)に建設を進めていたテクニカルセンター兼事務所を完成、1999年6月28日から操業を開始しました。

このテクニカルセンター兼事務所(大日本スクリーン・シンガポール=Dainippon Screen Singapore Pte.Ltd.)は、シンガポールおよび近隣諸国において設備を増強しつつある半導体メーカー各社への技術サービスと販売を強化するため、設備投資額8億2,000万円をかけ着工していたもの。

センターには、今後、簡易クリーンルーム、ショールーム、トレーニング室などを設け、顧客へのデモやサービス要員の教育などを行います。また、24時間・週7日間のメンテナンスサービスやパーツの供給、およびテレビ会議システムの導入による本社工場との連携強化で、シェアの拡大を目指します。

建設規模は敷地面積1,437平方メートル、のべ床面積約2,811平方メートル、鉄筋コンクリート5階建。同センターのための従業員数は当初15名(99/6)。なお、この新拠点の開設に伴い、グラフィック・アーツの販売・サービス部門も同所に移転しました。

* Dainippon Screen Singapore Pte.Ltd.は、1979年に大日本スクリーンの子会社として設立。資本金は1,580万SPドル、従業員数51人(99/6末)。設立当初は、印刷・製版産業向け印刷関連機器の販売・保守サービスのみを業務。1991年から半導体製造装置のサービスを手掛けています。



シンガポール・テクニカルセンター兼事務所

この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、
下記URLよりダウンロードできます。

(<http://www.screen.co.jp/press/photo.html>)